

2 据付け

据付け場所の選定

- ストープを据え付ける床面は強い振動や衝撃がなく、ストープの重量に充分耐え、安定していることが必要です。
- ストープは水平になるように置いてください。ストープが水平でないと異常燃焼や対震自動消火装置の誤作動の原因になることがあります。
- ストープには冷気の入ってくる方向、例えば外気の接する窓の下、壁面に設置すると効果的です。ただし、人の通る所や、可燃物の近くには置かないでください。
- ストープに物品が落下する可能性があるときは、落下の可能性のないように処置をしておいてください。
- 交流100Vの電気のコネントの位置を考慮してください。またコンセントは雨水がかけたり、ほこりの多い場所には設置しないでください。
- 直射日光の当たったメッシュ、温度の高い場所には設置しないでください。
- 理・美容院、キッチン、塗装工場、繊維関係工場などスプレーや化学薬品を利用する場所及びほこりの多い場所では使用しないでください。また温室、飼育室など、動植物の育成栽培に使用しないでください。
- **⚠警告**、**⚠注意**の項をご確認ください。

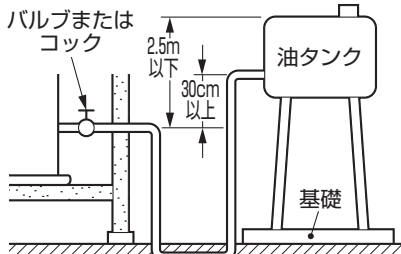
据付け方法

置台の取付けと水平調整

- 置台の上にストープを据えてからストープ床面の4箇所の調節脚で水平器を見ながら水平になるように調節してください。
- 本体側面についている水平器を上から見て、水平器のおもりが丸マークの範囲内にあるときが水平です。
- 傾斜した場所で使用すると、対震自動消火装置の誤作動や異常燃焼の原因となります。

油タンクの組立てと据付け

- 油タンクの据付けについては、各地の火災予防条例に従ってください。
- 油タンクは、ストープと間に防火上有効な壁などがない場合は2m以上離してください。
- ⚠警告**、**⚠注意**の項をご確認ください。
- 油タンクの送油バルブ(油の出口)と本体の送油管との落差は30cm以上になるように置いてください。
- オイルヘッド面との落差は最大2.5m以下にしてください。油が定油面器よりあふれ出る場合があります。
- 室外設置の油タンクの場合は、右図の落差をとってください。
- 油タンクを組み立ててください。
- 油タンクは熱・振動・衝撃の少ない場所に設置してください。
- 床置き式の油タンクは、畳・じゅうたんのの上に据付けしないでください。



屋外用油タンクの設置図

……標準給排気筒の取付け

9 チャンバー室の給気側配管接続口に、L形給気ホースエンドと給気ホースを接続して、ホースバンド(大)で固定します。チャンパー室の排気側配管接続口に排気用 L形継手を接続してください。

- L形給気ホースエンドと給気ホースは、ねじって取り付けます。
- L形給気ホースエンドと給気ホースを固定するとき、ホースバンド(大)で締め付けすぎると変形することがありますので、変形しないように注意してください。
- 給気ホースと L 形給気ホースエンドのはめ込みが固い場合は給気ホースに水または石鹸水をぬってからはめ込んでください。

The diagram illustrates the assembly of the gas supply system. It shows a vertical pipe with a flange at the top. A large hose band (ホースバンド(大)) is used to secure the L-shaped gas hose end (L形給気ホースエンド) and the gas hose (給気ホース) to the pipe. A gas hose end cap (給気口キャップ) is shown on the left. The gas hose (給気ホース) is connected to the L-shaped gas hose end (L形給気ホースエンド). The gas hose end (ホースエンド) is also shown. The exhaust side (排気用、取手側) is indicated on the right.

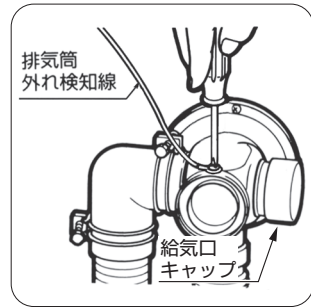
壁固定金具
穴位置

壁固定金具
穴位置

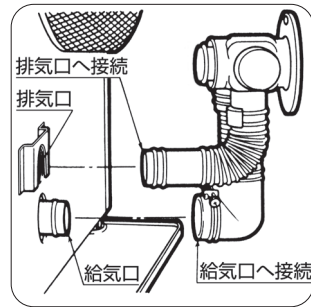
FF-9601 工事説明書 給排気筒取付け型紙

……標準給排気筒の取付け

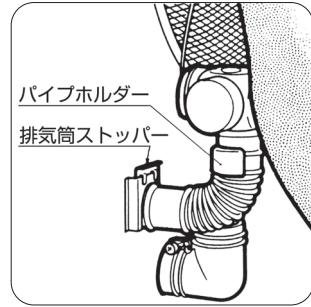
- ⑩ 本体背面の排気筒外れ検知線（白線のリード線）をはずして、丸端子を給排気筒のチャンバー室に取り付けであるタッピンねじを使用して固定します。
- 排気筒外れ検知線を接続しないと、ストーブは燃焼できません。
 - 使用しないチャンバー室の給気口には給気口キャップをかぶせておいてください。



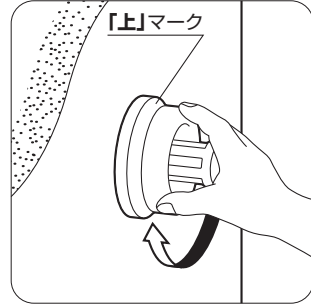
- ⑪ ストーブを置台ごと静かに移動させ、ストーブ背面の排気口を排気用し形継手にはめ、給気口をし形給気ホースエンドにはめ込みホースバンド（大）で固定します。
- 確実に差し込まれていることを確認してください。
 - 給気ホースは適切な長さにニッパやカッターナイフなどで切ってください。



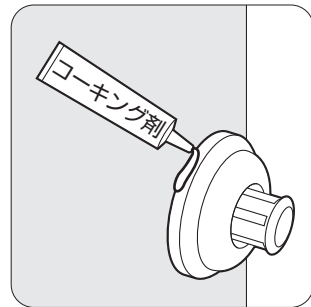
- ⑫ 排気用し形継手とストーブの排気口の接続部に排気筒ストッパーをはめます。排気用し形継手とチャンバー室の接続部にパイプホルダーを取り付けます。



- ⑬ ⑩項で軽くねじ込んで固定してトップ本体を、もう一度強くねじ込んでしっかりと固定してください。
- 「上」マークを上側にすると約2°の傾斜がとれて、設置できます。



- ⑭ トップ本体のフランジ部全周などにコーキング剤（シリコン系）を塗布し、雨仕舞をしてください。

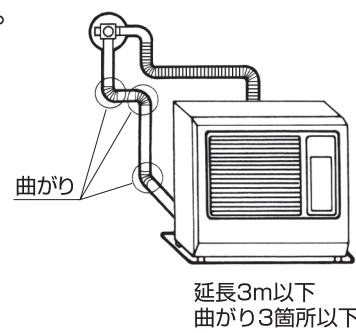


完全にコーキングしないと、雨水が室内や壁内に入ることがありますので、充分注意してください。

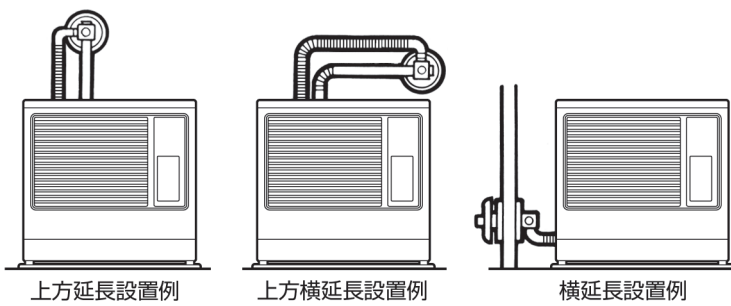
延長給排気工事の限界

■延長工事部品は、必ずトヨトミ純正別売部品FFP-16-4043（1m延長セット）、FFP-17-4043（2m延長セット）などを使用してください。

- 給排気筒の長さは3m以下、曲がりは3箇所以下にしてください。



- 標準給排気方式以外にも部屋の条件によって排気筒と給気ホースを延長して取り付けることができます。ただし延長限界は3m以下で曲がり3箇所以下です。



- やけど防止のため排気筒には、必ず断熱カバーを装着してください。
- 壁や給気ホースに排気筒が接触しないように、パイプ支え金具で、壁などに固定してください。

集合煙突利用の禁止

高層建築の集合煙突を利用した給排気は、火災予防上危険ですから、絶対におこなわないでください。

給排気筒の再利用時の注意

古い給排気筒は使用しないでください。必ず附属の給排気筒セットを使用してください。

4 試運転

- 試運転は、ご使用者と一緒に必ずおこなってください。
- 取扱説明書「15 据付け・移設について」の「試運転」に従って、運転準備、運転、消火の手順の試運転をおこなってください。

- ストーブの据付け工事が終わりましたら、必ず試運転をおこない、使用者に運転方法はもちろんのこと、日常の点検・手入れの方法、定期点検、故障・異常時の処置方法、連絡先等をお教えます。
- 同梱の「取扱説明書」、「保証書」と共に工事終了後はこの「工事説明書」をお客様にお渡し願います。

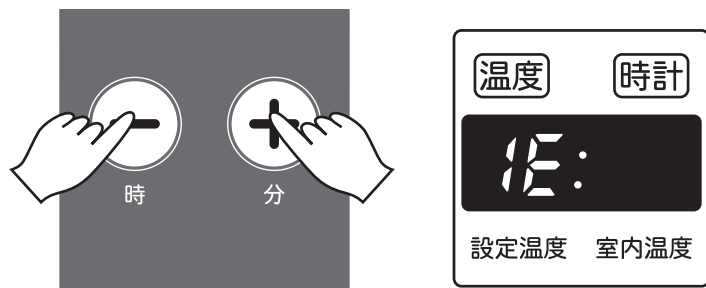
5 廃棄するときの注意

ストーブを廃棄するときは、必ず灯油を抜いてください。リサイクルの支障となります。

高地仕様への変更のしかた

（標高1000～1500mの場所でご使用の場合）

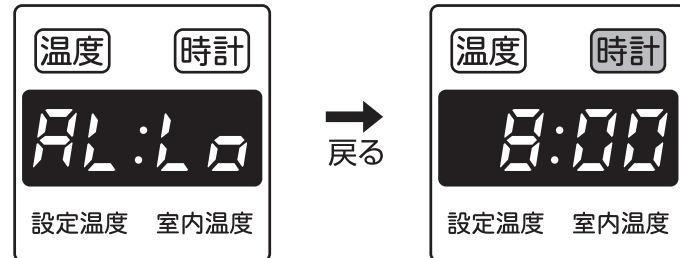
1. 運転停止中に「 $\ominus$ 」「 $\oplus$ 」ボタンを同時に3秒押します。デジタル表示部が「1E」表示に変わります。（室内温度が表示されていることもありますが問題ありません。）



2. デジタル表示部が「1E」表示中にタイマーボタンとエコボタンを3秒間押し続けます。ブザー音がしてデジタル表示部に「AL Hi」表示が3秒間点滅し、元の表示に戻ります。これで高地設定は完了です。一度設定をすれば電源プラグを抜いたり、停電があった場合でも高地設定は保持されます。



もし、高地設定を解除したいときは、1の操作からやり直してください。ブザー音がしてデジタル表示部に「AL Lo」表示が3秒間点滅し、元の表示に戻れば、高地設定の解除は完了です。



工事店様へのお願い

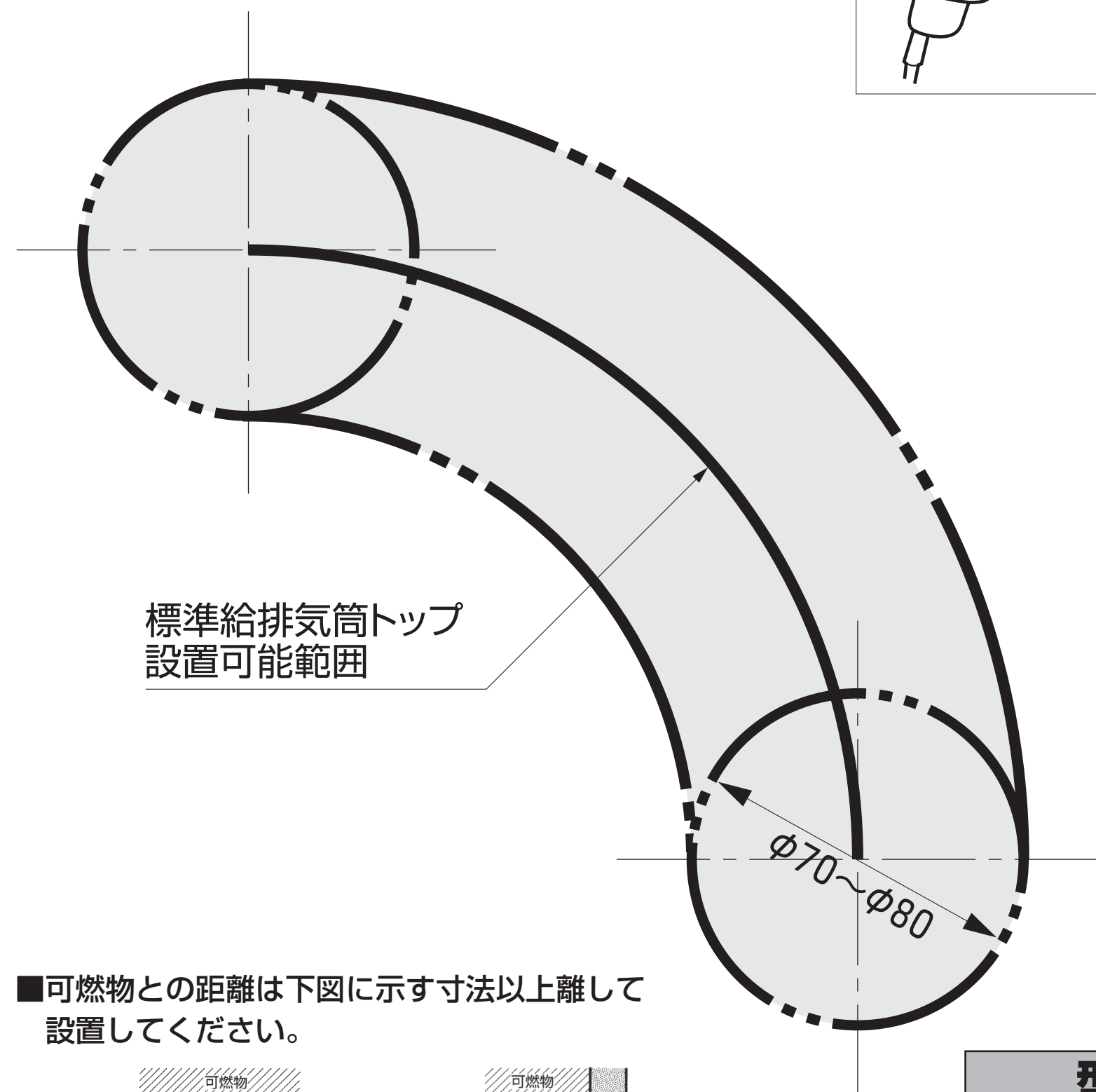
この製品は
●排気筒内径 → $\phi 40$ 、外径 → $\phi 41$
●給気筒接続口外径 → $\phi 43$ 、内径 → $\phi 42$ になっています。

標準給排気筒の取付け

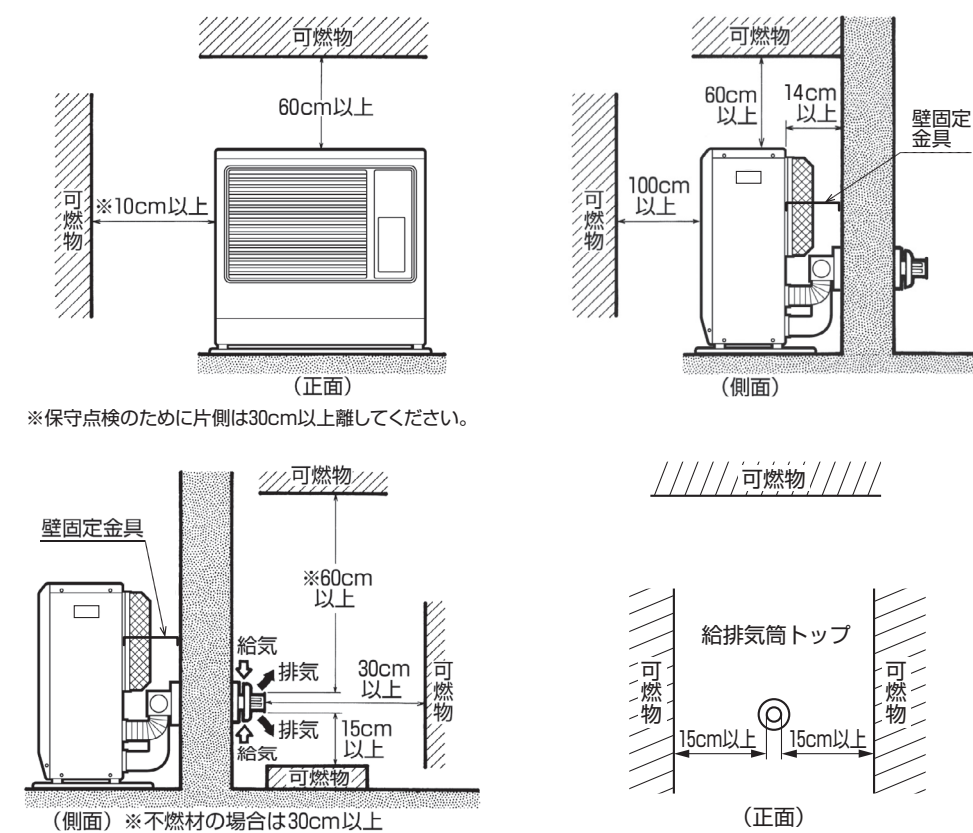
- 壁内の鉄筋・鉄骨・電気配線・ガス水道の配管を充分考慮してください。
- 壁の厚さが130mm以下、320mm以上のものには使用できません。
- 壁の厚さが130mm以下、320mm以上のものである場合は、別売部品を使用してください。

給排気筒の取付け、本体の固定方法は、裏面の説明書を良くお読みください。

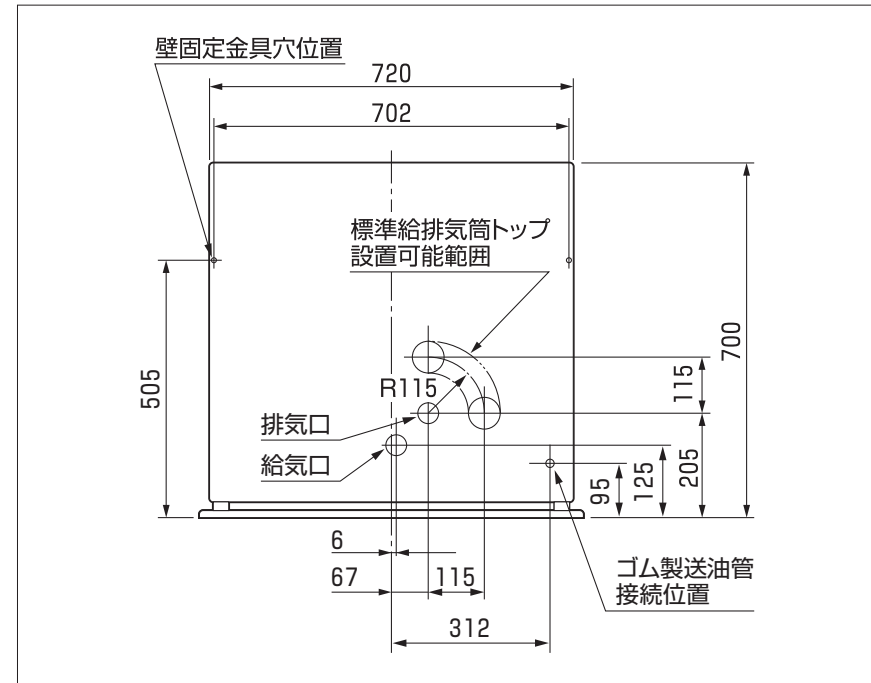
- 設置場所を決めてください。
- 給排気筒の穴あけ位置を決めてください。同時に壁固定金具の取付け位置のねじ穴にも印をつけてください。



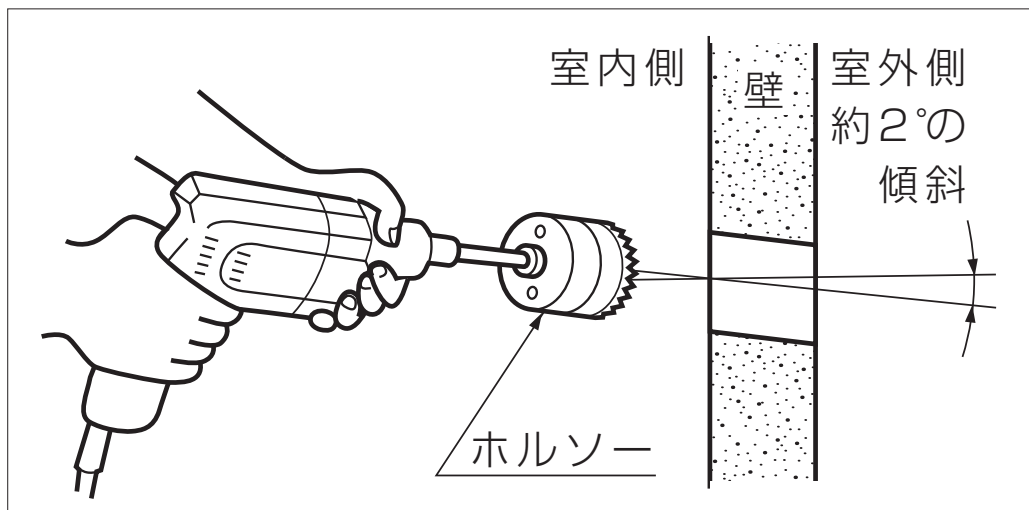
■可燃物との距離は下図に示す寸法以上離して設置してください。



- ストーブは、ストーブに附属された置台の上に据え付けること。



- 壁に給排気筒の穴（ $\phi 70 \sim \phi 80$ ）をあけてください。室内側から室外に向けて約2°の傾斜で下向きにあけてください。



型紙のご使用方法

1. 型紙の床面を床に合わせて壁に貼り付ける。
2. 壁固定金具が取り付けやすい位置を選びねじを取り付ける位置に印をつける。
3. 穴あけ位置に給排気筒の取付け穴をあける。

